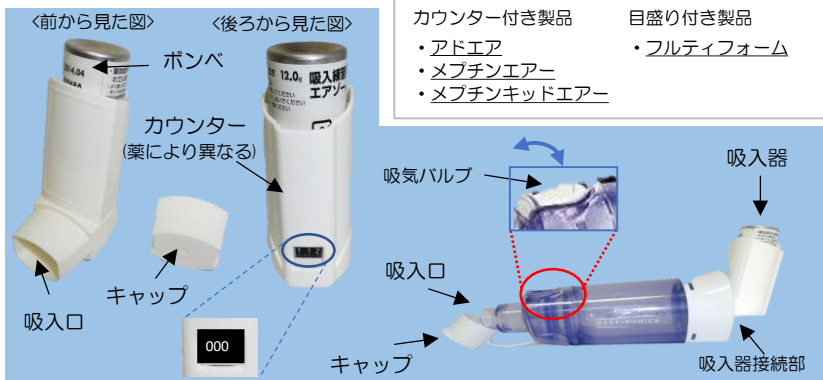


吸入服薬情報提供書 (pMDI(エアゾール製剤)+マウスピーススパーサー) 【オプティチャンバー】

おくすりの名前	吸入回数
【エアゾール製剤】	1日____回 1回____吸入

《部位の名称》



- カウンター付き製品 目盛り付き製品
- ・アドエア
  - ・メブチンエア
  - ・メブチンキッドエア
  - ・フルティフォーム

《残薬の確認方法》

- ・ボンベを押すたびにカウンターが減る
- ・カウンターが0になった回の吸入が終わりましたら、次回からは新しい吸入器を使用して下さい
- ・カウンターの無いものは専用の残量計又は残数確認シールで確認できる

\* 主薬と噴霧ガスを均一にするため吸入器を振りますが、患者の混乱を防ぐため振る必要のないものも全て振ると統一する

① 薬剤の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開封時は、試し噴霧を( )回行う</li> <li>□ 薬剤セット時の操作はボンベの底が上になるように垂直に持ち行う</li> <li>□ カウンターで残量確認する(カウンター付のもの)</li> <li>□ スパーサーと吸入器のキャップを外す</li> <li>□ 吸入器をよく振る(A)</li> <li>□ ボンベの底が上になるように垂直にスパーサーに</li> </ul>	<p>よく振る</p>	<p>呼吸量≒吸気量</p>
② 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 無理のない程度に息を吐き一旦止める(スパーサーの吸入口には息を吹きかけない)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・息吐きをしないとしっかり吸えない</li> </ul>
③ 吸入	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ スパーサーの吸入口をくわえ、ボンベを1回押し薬剤を噴霧後、口角を閉じ、3秒間ほどかけて、ゆっくり深く、最後まで息を吸い込む</li> <li>□ 息止めができない場合は、5回程度(15秒程度)安静呼吸を行う。(②④⑤は不要)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・深呼吸するイメージで吸う</li> <li>・1回の吸入ごとに1回噴霧する</li> <li>・吸入に合わせ、吸気バルブが動いていることを確認します</li> </ul>
④ 息止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深くとは「長く吸う」と解釈する</li> <li>・トレーナー(笛)使用時は、安定した音が長く続くように指導する</li> <li>・速すぎると音が止まる設計となっている</li> <li>・「深呼吸をする」イメージ・速さで吸い、肺の奥まで届けると説明すると伝わりやすい</li> </ul>		
⑤ 息吐き	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 鼻からゆっくりと息を吐く</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口から吐くと速くなることがある</li> </ul>
⑥ 後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸入口に息を吹きかけないようにする意味も込めて鼻から抜くことが良い</li> <li>・ステロイドに限っては鼻腔内における抗炎症作用が期待できるとの報告がある</li> <li>吸入後に鼻から息を吐きだすことで気管支などに定着できなかった薬が鼻の中に定着する</li> <li>その為、吸入後に鼻から息を吐きだすことでアレルギー性鼻炎や好酸球性副鼻腔炎に効果が期待できる</li> </ul>		
⑦ うがい	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 吸入器をスパーサーから外し、吸入器およびスパーサーのキャップをしっかりと閉じる</li> </ul>	<p>を拭く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1週間に1度程度スパーサーを洗浄して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内及び咽頭についた薬を洗い流す</li> </ul>

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため、吸入後すぐにうがいをする  
それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うようにする

保険調剤薬局名(薬剤師名) : \_\_\_\_\_ 年 月 日